

水の庭 *Jardin d'Eau*



歌川広重 / 亀戸天神境内

名作《睡蓮》が生まれた舞台です。浮世絵や日本庭園から影響を受けたモネは、太鼓橋や藤棚、しだれ柳などを配置し、池を美しく縁取りました。

絶えず変化する水面と反射は、モネを魅了し、尽きることのないインスピレーションの源となりました。
4月下旬から10月上旬には、本家から株分けされた温帯スイレンが午前中に可憐な花を咲かせます（*午後には花を閉じます）。

花の庭 *Jardin des Fleurs*



パレットのように彩られた花壇は、まさに生きた絵画です。色主体に構成され、モネは異なる大きさの花々で遠近法や対称性、色彩、ボリュームを追求しました。

花の色彩美を純粋に感じていただくため、名札は設置していません。
またバラのアーチの下は、色のラインを感じ取れるよう、本家同様に立ち入りを制限しております。

ボルディゲラの庭 *Jardin de Bordighera*



《ボルディゲラの別荘》1884

本家の提案により誕生した北川村独自の庭園です。
モネの後半生の作品や庭造りに影響を与えた北イタリア・ボルディゲラの絵画をモチーフに、地中海と高知の植物を調和させています。

Accès アクセス情報



〔駐車場〕100台（大型バス6台）

チケット情報

入園料（税込） Droits d'entrée (TTC)		団体（20名様以上） Groupe (20+)	
一般 / Adulte	¥ 1,000	¥ 900	次の手帳をお持ちの方と付添い1名は無料 ・身体障がい者手帳（1・2級） ・精神障がい者手帳（1級） ・療育手帳（A1・A2） ※チケット売場で手帳をご提示ください
小中学生 / Enfant (6-15 ans)	¥ 500	¥ 450	
Gratuit pour les enfants de moins de 6 ans（6歳未満は無料）			

●当園のチケット（半券）でフランス・ジヴェルニーのモネの庭に入園できます

Ce billet donne accès à la Maison et aux Jardins de Claude Monet à Giverny.

園内施設（カフェモネの家・手づくり工房・ショップ）は入場無料

開園時間

9:00-17:00（最終入園16:30）

Heures d'ouverture :

9h00-17h00 (Dernière admission à 16h30)

禁止



休園日

6月-10月の第1・第3水曜日、12月-2月（冬期メンテナンス休園）

Fermeture : 1er et 3e mercredis (juin-octobre),

décembre-février (entretien hivernal)

北川村 モネの庭 マルモッタ

〒781-6441 高知県安芸郡北川村野友甲1100

<https://www.kjmonet.jp>

お問い合わせ 0887-32-1233



当園の名称は、パリのマルモッタ・モネ美術館元館長ドートリヴ氏より贈られました

Jardin de
Monet
Marmottan
au Village de Kitagawa



画家の最高傑作

印象派の巨匠クロード・モネは、フランスのジヴェルニーに理想の庭園を造り上げました。画家であり熱心な園芸家でもあったモネは、この庭を「私の最高傑作」と呼び、《睡蓮》シリーズをはじめとする数々の名画の創作の場となりました。

フランスから高知へ

1990年代、過疎と高齢化に直面していた北川村は、村おこしの道を模索していました。当初計画していたワイナリー誘致は実現しませんでした。それを契機にフランス文化への関心が深まりました。そして、モネの庭園再現という新たな挑戦が始まったのです。村から派遣された担当者たちは幾度もジヴェルニーを訪れ、「モネの庭」責任者の心を動かすことに成功。小さな村の真摯な取り組み姿勢が高く評価され、2000年、「モネの庭」本家の指導とフランス芸術アカデミーの承認を受けた、世界で唯一の本家公認の北川村「モネの庭」が誕生しました。



ジャン＝マリー・アヴィサル氏（本家庭園責任者）
モネの精神が受け継がれているかを確認するため、本家のチーフガーデナーは数年ごとに北川村を訪れています。

北川村ならではの芸術表現



モネが夢見た「青い睡蓮」が、7月から10月下旬まで凛とした美しさで咲き誇ります。温帯スイレンには見られない青や紫色の色彩を持つこの熱帯スイレンは、冷涼なジヴェルニーでは育成が困難でした。



本家とは異なる気候風土のもと、地域の植物を活かしながらモネの精神を受け継ぐ庭園美を追求しています。日本の伝統的な造園技術とフランス印象派の美意識が調和したこの空間は、モネが憧れた東洋の庭園の理想を体現しているのです。

選択的除草の取り組み

モネの庭では、雑草をすべて除去するのではなく、慎重に選別しながら除草を行っています。花壇の色合いに調和する場合は雑草の花をあえて残し、植物の健やかな生育と生物多様性の保全に努めています。農業を控えた人の手による丁寧な管理で、自然本来の美しさを大切に育んでいます。



ブルービー
幸せを呼ぶ青いハチが7月～9月に飛来します。

急勾配の坂道

沿道のゆず畑は収穫用のため、立ち入りはご遠慮ください。



《ボルディゲラ》1884
リヴィエラの小屋からは太平洋の絶景とモネの世界が広がります。

園内マップ Plan du Jardin de Monet



おすすめ順路

チケット売場	① 水の庭	② ボルディゲラの庭	駐車場	③ 花の庭
…約5分	…約5分	…約10分	…約5分	…約5分

自然の森（遊歩道）は、時間に余裕がない場合、省略をおすすめします。

水の庭の手入れ

水面に映る空と雲、睡蓮。モネが求めた完璧な水鏡を守るため、庭師は週に一度（*5月～10月の火曜日）、池に入り、水草や枯れ葉を取り除きます。

種は自家採り

花が終わっても種を残すため、そのまま育てることがあります。ジヴェルニーや皆様からいただいた大切な花を、毎年咲かせ続けています。



《日本橋と睡蓮》1889
太鼓橋は伝統的な朱色から緑に塗られ、水辺の風景に溶け込んでいます。



リヴィエラの小屋

ボルディゲラの庭にある眺めのよい休憩所。軽食やドリンクも楽しめます。
●リヴィエラの小屋カフェ
営業時間 / 9:30-16:00



ギャラリー＆ショップ

アトリエをモチーフにしたギャラリーでは、名画のレプリカを展示。ショップではモネグッズや地元商品などを取り揃えています。



カフェモネの家（レストラン）

地元の食材を使ったモネのレシピ風のメニューをご用意しております。
営業時間 / 9:00-16:30
ランチ 10:00-15:00 定休日 / 火



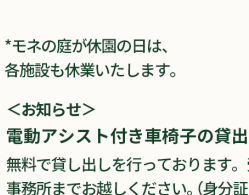
手づくり工房

北川村特産のゆずを使用したパンなどを作っています。
*販売は「カフェモネの家」で行っております。



フラワーハウス

庭の植栽を支えている、いわば心臓部。モネの庭で育てた花苗の販売もしています。



見頃の花

（開花時期は前後する場合があります）
3月 / パンジー、スイセン、クリスマスローズ、チューリップ
4月 / フジ、アイリス、チェイランサス、ボタン
5月 / ポピー、ラバテラ、バラ、クレマチス、ジキタリス

6月 / ナスタチウム、ユリ、アガパンサス、グラジオラス、ヘメロカリス
7月 / ダリア、ルドベキア、ジンジャー、エゾミソハギ、アメリカフヨウ
8-9月 / スイレン（最盛期）、ミソハギ、カンナ、ヒマワリ、リコリス
10-11月 / アスター、ダリア、コスモス、サルビア、キク、クフェア、ケイトウ

《モネの庭の小道、ジヴェルニー》1902

中央の小道に設けられた優雅なつるバラのアーチは、庭を立体的な芸術作品へと昇華させています。初夏には鮮やかなナスタチウムが地面を覆います。